

関東農政局本局プロジェクトへの参加を通して本局と拠点の連携強化

みどりの食料システム戦略をさらに推進するため、本局主催の「食ミラプロジェクト～食と環境を未来の子どもたちへ～」へ千葉県拠点の若手職員も参加することで、本局と拠点の連携強化を図る。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

拠点職員から「拠点で業務を遂行していても本局の動きが把握できず、連携が図れていない」という声が上がっていた。そこで当プロジェクトは、令和6年度から拠点職員も参加可能となったことから、千葉県拠点の若手職員が参加。

○ 取組の内容

いわゆるZ世代や子育て世代等の若者世代へ、持続可能な農業や取組を発信するにはSNS等の活用が有効と考え、関東農政局管内の生産者や店舗、事業者等取材しSNS等に投稿することで周知活動を実施。

この活動を通し、本局他部署や他拠点とやり取りをしていく中で若手職員だけでは対応できない案件等を通じて、若手職員のみならず拠点職員と本局職員の連携を図り、活動を展開。

○ 効果・成果、今後の方向性

意見交換に伺った学生等から「食ミラSNS見ました！」と反応があり、拠点広報活動の参考に。

本局と拠点の連携を図りながら積極的に様々な活動をしていく中で若手職員を通し、若手だけでなく他部署等本局と拠点の連携強化に発展。

今後も積極的に拠点職員と本局職員の交流の機会に参加し、更なる連携を強化。



本局職員と合同の意見交換及び農作業体験を実施
(千葉県流山市)

関東農政局局議で活動についてプレゼンする拠点職員(右端)



体制図

